

消費生活

高齢者を狙う「カニの送り付け商法」

消費生活

相談室



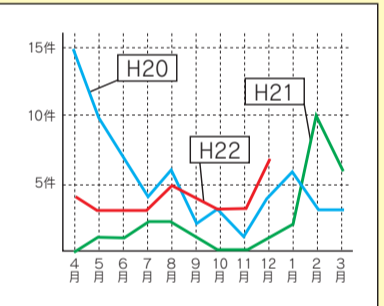
カニなど海産物の電話勧誘販売に注意

海産物業者から電話がかかり、カニなどの海産物の購入を勧める電話勧誘販売の相談が増えています。2年ほど前に「カニの送り付け商法」としてテレビなどでも取り上げられたことから、ご存じの方も多いと思います。昨年度は冬場に相談が集中しましたが、今年度は年間を通して相談が寄せられている状況です。今回は下表のように高齢者からの相談が多く、また、時期的にも十分注意が必要なカニなどの電話勧誘販売について情報提供します。

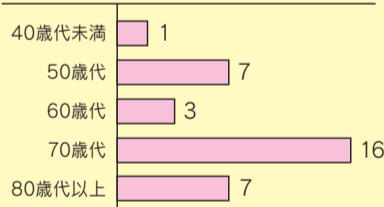
カニの送り付け商法の件数（電話勧誘）

Table with 2 columns: Year (H20, H21, H22) and Number of cases (64, 26, 35).

月別相談件数



年齢別(H22.4.1~H22.12.28)



消費生活センターからのアドバイス

電話勧誘もクーリングオフが可能

●平成21年12月に施行された改正特定商取引法により、電話勧誘でカニなどの食品を購入した場合もクーリングオフをすることができるようになりました。

●商品は代金引換の宅配便などで送付されることがほとんどです。解約したいと思っている場合は業者の連絡先を書き留め、クーリングオフの通知を出しましょう。

●電話勧誘の商品はカニなどの魚介類や海産物が主ですが、じゃがいもなどの野菜を送付するといったケースもあります。

●事例2ではカニの送付前にハガキを送り、ハガキ到着日を契約書面交付日としているように思われます(クーリングオフができる期間は正式な契約書を受け取った日から8日間です)。

しかし、ハガキ1枚では正式な契約書とはいえないので、不必要な場合はハガキ到着日から8日以上経っていてもクーリングオフの通知を出すようにし、業者の口車にのらないよう注意しましょう。

★次のことに気をつけて被害にあわないようにしましょう。

●毅然とした言葉で断りを

●購入すると言っていないのに業者が商品を送ってきた場合は、そもそも契約が成立していない状態です。

商品を受取拒否をし、業者への対抗策として念のためクーリングオフの通知を出したほうが無難です。

※カニなどの勧誘電話は旅行したときのお土産の送付先や電話帳などを元にかけておくことが多いようです。

契約する意思がないのであれば、「いいです」「結構です」などの曖昧な返事をせず「必要ありません」「お断りします」ときっぱり断るようにしましょう。

※電話勧誘では商品を直接見ることができず、実際に届いてみると商品の善し悪しについては分かりません。業者の甘い勧誘に誘われないようにするとともに、契約を急がされてもすぐに返事するのはなく、家族や友人などと相談し冷静に判断しましょう。また、契約を急がせる業者(考える時間を与えない業者)とは契約をしないほうが無難です。

高齢者を狙って電話勧誘をしている傾向が見られます。被害を未然に防ぐためにも家族間や地域内での情報の共有をしていくことが重要です。

相談・お問い合わせ

熊本県消費生活センター

相談電話番号 096-383-0699

FAX 096-383-0998

住所 熊本市水前寺6丁目18-1

熊本市庁新館4階

ホットライン 0570-064370

来所での相談も受け付けています。

親子のコミュニケーション講座

子どもを生み、自立した大人への育成とは(43回)

二人の人間を生み、養い、社会の中で自立した一人になるまで育てる。これが親の役割です。親は子どもの成長に大きな責任があります。そのためにも必要なものがコミュニケーション能力です。ここでは親子のコミュニケーションのとり方についてアドバイスします。

今月のテーマ

「やる気アップ」



津川 育子

「子どもにやる気を見られなくて、イライラする。もっと、自分からやる気を出してあげたいのに」と子どもを見ていて思うことがあると思います。面白いことに、「最近こんな人が増えて困る」と、多くの会社のトップがおっしゃいます。

「言われた事しかやらない」「目標意識が無い」「教えられるのを待ただけで自ら学習しようとしてない」「愚痴ばかり言い、雰囲気をも暗くする」

「子どもにやる気を見られなくて、イライラする。もっと、自分からやる気を出してあげたいのに」と子どもを見ていて思うことがあると思います。面白いことに、「最近こんな人が増えて困る」と、多くの会社のトップがおっしゃいます。

「言われた事しかやらない」「目標意識が無い」「教えられるのを待ただけで自ら学習しようとしてない」「愚痴ばかり言い、雰囲気をも暗くする」

「子どもにやる気を見られなくて、イライラする。もっと、自分からやる気を出してあげたいのに」と子どもを見ていて思うことがあると思います。面白いことに、「最近こんな人が増えて困る」と、多くの会社のトップがおっしゃいます。

「言われた事しかやらない」「目標意識が無い」「教えられるのを待ただけで自ら学習しようとしてない」「愚痴ばかり言い、雰囲気をも暗くする」

「子どもにやる気を見られなくて、イライラする。もっと、自分からやる気を出してあげたいのに」と子どもを見ていて思うことがあると思います。面白いことに、「最近こんな人が増えて困る」と、多くの会社のトップがおっしゃいます。